

南仏事件情報（2016年4月）

（1）殺人、強盗等

○ 銃撃で3人死亡（2日、ブーシュ・デュ・ローヌ（BdR）県）

2日22時45分ごろ、マルセイユ市15区のシテ内で、けん銃とカラシニコフによる銃撃により、3人が死亡して3人が負傷した。被害者はすべて20～30歳代で、現場には10数発の薬きょうが遺留されていた。襲撃者は3人だとみられており、犯行後逃走した。

○ 48時間で4人目の被害者（4日、BdR県）

4日午前中、マルセイユ市14区で、47歳の男性が、覆面をして猟銃とカラシニコフで武装した3人組から襲撃されて死亡した。

○ マルセイユ市で死体が発見される（24日、BdR県）

24日、マルセイユ市13区の空き地で、男性の死体が発見された。遺体の身元はまだ判明していないが、40歳代で、数日前に暴行により死亡したものと見られている。

（2）その他

○ ロータリーでの発砲事件（3日、エロー県）

3日7時30分ごろ、モンペリエ市のロータリー交差点で、自動小銃による発砲事件が発生し、2名が軽傷を負った。少なくとも3人が関係するケンカに伴うものとみられる。現場の交差点には複数の薬きょうが遺留されていた。この事件に関し、ただちにモンペリエ市に居住する男性が逮捕され、自宅からけん銃が発見された。

○ 19歳の若者が襲われる（8日、BdR県）

8日19時30分ごろ、エクサン・プロヴァンス市で、19歳の男性がナイフで胸を刺され、救急病院に運ばれた。ナイフは心臓からわずか数cmにまで達していたが、運良く一命をとりとめた。警察によると、麻薬取引に端を発するケンカが原因だとのこと。

○ 一晩で住宅強盗3件（14～15日、BdR県）

14日22時00分ごろ、マルセイユ市8区で、とある住宅の玄関がノックされた。家人がドアを開けずにいると、覆面をしてけん銃を持つ

た2人の来訪者は、2階部分に登って屋内に侵入しようとした。たまたまパトロール中の警察官が通りかかりパトカーのサイレンを鳴らしたことから、犯人は逃走した。その3時間後、シオタ市で、レストランを経営している50歳代のカップルが、自宅前でけん銃とナイフで武装した3人組から襲撃されて縛り上げられ、7,000ユーロを強奪された。同じく1時30分から6時00分ごろまでの間に、7区所在の住宅から自動車2台が盗まれた。

○ マルセイユで男性2名負傷（19日、B d R県）

19日14時30分ごろ、マルセイユ市15区のシテ内で、男性2名が銃撃を受けて負傷した。1名は喉を、もう1名は足に弾丸を受け、病院に搬送された。

○ バラバラ死体が発見される（19日、オート・コルス県）

19日、バステリア南部のビグーリア市で、トレッキング中の2人組が、人の胴体部分を発見した。翌20日午後、オート・バラニュ市の県道沿いで、腕と脚がプラスチックの袋に入れられて放置してあるのが発見された。それぞれの遺体の部分は焼けて炭化しており、また、ひざとひじの部分は小さな袋に小分けされていた。被害者は西洋人男性で、年齢30～50歳だと推定されている。

○ トルコ総領事館に火炎瓶（20日、B d R県）

20日23:20ごろ、マルセイユ市8区にあるトルコ総領事館に、何者かが火炎瓶2本を投げつけて逃走した。けが人は出なかったが、国旗を掲げていたポールが焼損した。この事件により、日曜日に予定されていたアルメニア人に対する虐殺追悼101周年祈念行進は変更を余儀なくされた。

※ ここに掲載した事件は新聞等の公開情報をもとにまとめておりますが、掲載した事件以外にも日々各種事件が発生していることを申し添えさせていただきます。